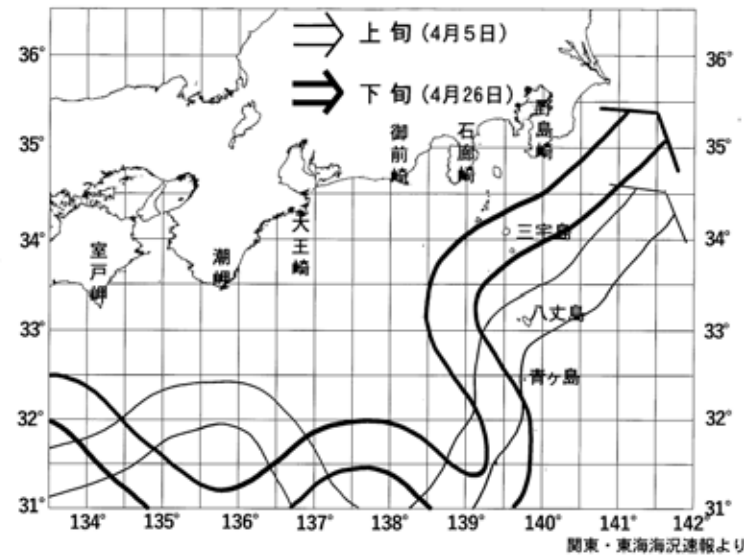


漁海況月報

令和3年4月1日

No. 4 ~4月30日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



4月定地水温の旬平均値 () (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	16.8	17.0	16.6	16.7	17.3	17.1
	2.1	2.1	1.6	0.7	1.2	2.0
中旬	17.0	16.9	16.4	16.6	16.7	16.4
	1.7	1.5	0.9	0.1	0.1	0.6
下旬	17.3	17.3	16.9	17.8	18.0	17.2
	1.1	1.3	0.7	0.7	0.6	0.6
月	17.0	17.1	16.6	17.0	17.4	16.9
	1.6	1.6	1.1	0.5	0.6	1.0

* 地頭方の水温観測は終了しました。

[黒潮流路]

潮岬 - 遠州灘を大きく離岸した後に遠州灘-石廊崎沖付近で北上し、上旬は八丈島付近を、中旬以降は八丈島の西側を通る流路であった。

上旬は潮岬 - 遠州灘を大きく離岸し、遠州灘沖 30.5°N 付近から八丈島付近を北上する流路となり、潮岬に向けて暖水波及が見られた。

中旬は潮岬 - 遠州灘を大きく離岸し、石廊崎沖 31°N 付近から八丈島の西側を北上する流路となり、大島西、東水道に向けて暖水波及が見られた。

下旬は潮岬 - 遠州灘を大きく離岸し、石廊崎沖 31°N 付近から中旬よりさらに八丈島の西側を北上する流路となり、熊野灘、遠州灘、駿河湾、大島西水道に向けて暖水波及が見られた。

[県下沿岸域]

上旬は雲見、沼津で「やや高め」、伊東、稲取、下田、焼津で「高め」であった。中旬は雲見、沼津で「平年並」、下田、焼津で「やや高め」、伊東、稲取で「高め」であった。下旬は全地点で「やや高め」であった。

[竿釣カツオ]

4月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは76.7トンで前年同月(110.7トン)の69%であった。魚価は417円/kgで前年同月(587円/kg)を下回った。

漁場は 31-32°N、136-137°E の潮岬沖周辺海域などであり、御前崎港で測定した魚体サイズは、小(尾叉長 47cm)を主体に、中(尾叉長 50cm)などであった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量 (ト)	水揚隻数	平均水揚量/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
R3年4月上旬	6.3	3	2.1	427
中旬	16.2	6	2.7	541
下旬	54.2	10	5.4	378
R3年4月計	76.7	19	4.0	417
R2年4月計	110.7	38	2.9	587
H31年4月計	149.5	49	3.1	518

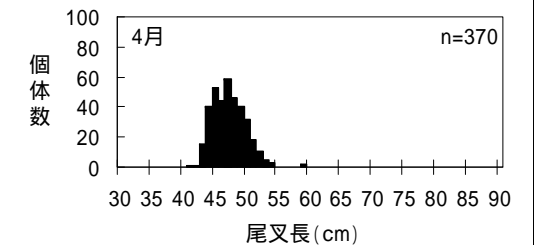


図 御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

[定量網]

伊豆半島東岸大型定量網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は422.9トンで前年の同漁場の水揚げ量(570.7トン)の74%であった。また、1か統あたりの水揚げ量は、60.4トンで前年(81.5トン)の74%、平年(60.0トン)の1.0倍であった。水揚げ量の多い漁場は、川奈漁場(94.7トン、マイワシ、さば類、ブリ)、次いで谷津漁場(76.5トン、ブリ、さば類、サワラ)であった。

多獲された魚種の水揚げ量は次頁(表)のとおりで、さば類は132.9トンで、前年比1.3倍、平年比2.2倍であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは28.6トンで、前年比86%、平年比1.2倍、ゴマサバは104.3トンで、前年比1.5倍、平年比2.3倍であった。ブリは113.2トン、前年比49%、平年比1.4倍で、銘柄ぶり主体であった。銘柄ぶりの水揚げが本格化するのは例年2~3月であるが、今年は4月であり例年に比べて遅かった。魚体は体長(尾叉長)約75cm、体重約8kgで脂乗りが良く、発達した卵巣、精巣が確認できた。また、例年銘柄ぶりの水揚げが少ない川奈四そう張漁場(上記7か統以外の漁場)において銘柄ぶりが60.7トン水揚げされ、特異的な入網であった。マイワシは82.1トン、前年比63%、平年比2.0倍であった。スルメイカは50.0トンで、前年比73%、平年比2.6倍であった。カタクチイワシは12.1トンで、前年比1.2倍、平年比28%であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)のとおりで、各漁場の水揚げ量の割合は、さば類では赤沢漁場が22%(29.6トン)、北川漁場が19%(25.3トン)、富戸漁場が18%(24.2トン)、川奈漁場が17%(22.4トン)、ブリでは谷津漁場が50%(57.0トン)、富戸漁場が15%(17.2トン)、マイワシでは川奈漁場が55%(45.0トン)、伊豆山漁場が31%(25.1トン)、スルメイカでは北川漁場が47%(23.5トン)、富戸漁場が27%(13.3トン)、カタクチイワシでは古網漁場が66%(8.0トン)、伊豆山漁場が33%(4.0トン)を占めた。

* 平年：昭和57年~令和2年の平均値

(表) 多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	132.9	1.29	2.15	赤沢、北川、富戸、川奈
ブリ	113.2	0.49	1.44	谷津、富戸
マイワシ	82.1	0.63	2.03	川奈、伊豆山
スルメイカ	50.0	0.73	2.57	北川、富戸
カタクチイワシ	12.1	1.17	0.28	古網、伊豆山

[サバたもすくい網]

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい主体で操業した。漁場は上旬は銭洲、中旬は銭洲、ひょうたん瀬及び三宅、下旬は利島及び高瀬に形成された。水揚量はマサバ108トン(前年同月比13%)、ゴマサバ291トン(前年同月比1.8倍)であり、1隻あたり水揚量はマサバ3.6トン(前年同月比16%)、ゴマサバ9.7トン(前年同月比2.2倍)であった。

1kgあたり平均単価はマサバは95円で前月(79円)を大きく上回り、前年同月(88円)を上回った。ゴマサバは92円で前月(82円)を上回り、前年同月(116円)を下回った。

漁獲されたマサバの体長組成は29cmと34cmにモードを持つ二峰形、ゴマサバの体長は34cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R3年4月上旬	38	195	5	12	3.1	16.2	108	84	銭洲
中旬	16	64	3	9	1.8	7.1	86	102	銭洲、ひょうたん瀬、三宅
下旬	54	33	4	9	6.0	3.6	89	116	利島、高瀬
R3年4月計	108	291	12	30	3.6	9.7	95	92	銭洲、ひょうたん瀬、三宅、利島、高瀬
R2年4月計	800	159	13	36	22.2	4.4	88	116	銭洲、三本、ひょうたん瀬、三宅
H31年4月計	385	423	12	34	11.3	12.5	89	99	銭洲、三本、三宅

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[サクラエビ船曳網]

4月の出漁日数は6日、水揚量は36.5トンであった(前年同月の出漁日数は1日、水揚量は2.3トン)。主漁場は興津川沖~三保沖であった。水揚げされたサクラエビの体長組成をみると35mm付近にモードがあった。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	漁場
R3年4月上旬	0.6	1	用宗沖、相良沖
4月中旬	11.5	2	三保沖、相良沖
4月下旬	24.4	3	興津川沖~三保沖
R3年4月計	36.5	6	-
R2年4月計	2.3	1	焼津沖~相良沖
H31年4月計	8.6	4	焼津沖~相良沖
H30年4月計	142.6	8	富士川沖~由比沖

[シラス船曳網]

県内主要6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が431kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が935kgであった。平均水揚量は745kgと前年同月(287kg)の2.6倍、平年同月(過去5か年平均:526kg)の1.4倍であった。また、総水揚量は1,700.5トンで前年同月(404.7トン)の4.2倍、平年同月(985.3トン)の1.7倍と、前年同月、平年同月をともに上回った。平均単価は480円/kgと、前年同月(607円/kg)の79.1%、平年同月(724円/kg)の66.4%と、前年同月、平年同月をともに下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(ト)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新居	178.4	15	207	862	386
舞阪	584.5	15	606	965	505
福田	368.4	15	403	914	435
御前崎	196.7	19	204	964	455
吉田	313.3	21	543	577	511
静岡	59.2	17	321	184	725
R3年4月計	1,700.5	102	2,284	745	480
R2年4月計	404.7	65	1,412	287	607
H31年4月計	446.7	69	1,270	352	881

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年:過去5か年(平成28~令和2年)平均値

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、沼津港では314.5トン(前年同月比31.5%、平年同月比54.8%)、小川港では154.6トン(前年同月比1.3倍、平年同月比81.2%)、伊東港、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、沼津港では3.6トン(前年同月比6.9%、平年同月比28.0%)、小川港では4.1トン(前年同月比99.8%、平年同月比51.7%)、伊東港、静浦港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは82.1トン、カタクチイワシは12.1トンであった。

*平年:過去5か年(平成28~令和2年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

4月6日	~	4月8日	地先定線観測調査	(3日間)
4月15日	~	4月16日	いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)
4月19日	~	4月20日	さば類標識放流調査(利島)	(2日間)
4月21日	~	4月22日	いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

